

# 社会 小学校 第5学年

## 個々の問題の出題の意図及びその正答率

領域	問題番号			出題の意図	評価の観点			正答率
	大問	小問	通番		思考・判断	観察・資料活用・表現	知識・理解	
わたしたちの生活と食料生産	①	1	1	資料の数字が何をあらわしているかを正しく読みとり、それらの変化の様子を正しくとらえることができる。		○		38.1
			2			○		63.0
		2	3	稲作の農作業の時間がへってきた理由について考え、その理由はどのようなグラフから読みとることができるか判断することができる。	○	○		58.0
		3	4	たい肥の利用によって、あたえすぎると害のでる農薬の量をへらし、安全な米づくりに役立てるなど、農家の人々の工夫や努力についてわかっている。			○	92.1
		4	5	これからの食料生産について、外国で生産された食料品の問題や食料品の安全性を考えることができる。	○			40.2
わたしたちの生活と工業生産	②	1	6	自動車の組み立て工場で、自動車はどのようにつくられているのか、働いている人々はどんな様子なのかなどが正しくわかっている。			○	73.3
			7				○	97.5
		2	8	完成した自動車が消費者のもとに運ばれるためには、トラックや船などによる運輸の働きが大切であることを考えることができる。	○			80.5
		3	9	四方位を正しく理解し、地図の上で、ある地点からの方位をあらわすことができる。		○	○	52.5
			10	ちぢめて書いてある地図ではわからない本当のきよりを、「しゅくしゃく」を活用してあらわすことができる。		○	○	76.4
わたしたちの生活と工業生産	③	1	11	資料の数字が何をあらわしているかを読みとり、その中から必要な情報を正しく読みとることができる。		○		87.1
			12			○		75.1
		3	13	日本と外国との貿易について、おたがいの国の願いの一致やゆたかさの交かんということから考え、判断することができる。	○			86.7
		4	14	いくつかのグラフから、各グラフの品目と、その数字の変化、全体的な変化などに注意して、必要な情報を正しく読みとることができる。		○		82.7
			15	日本の貿易の変化について、品目の数字に注意して正しく読みとったり、日本の貿易の特色について、外国とのむすびつきから考えることができる。	○	○		65.1
わたしたちの生活と情報	④	1	16	ニュース番組は、短い時間で正しい内容を伝えるために多くの人たちの協力にささえられてつくられているという点から考えることができる。	○			66.8
		2	17	放送局で働く人の「正しい情報をより早く伝える」ための工夫や努力について、放送局の人の立場やしちよう者の立場から考えることができる。	○			80.1
		3	18	放送局で働いている人々の工夫や努力について、「情報をわかりやすく、正確に伝える」という点から考えることができる。	○			85.4
		4	19	情報の利用について、その質問にあったたずね先と調べる方法を組み合わせで考え、自分の考えをはっきりさせて書くことができる。	○			64.4
		5	20	社会の変化に応じて情報を正しく活用することの大切さや個人情報の保護が必要なことなど、情報と私たちの生活について考えることができる。	○			72.5